

科目名	木型製作Ⅱ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
足部に重度の変形（内反足、内反尖足など）を持つ方をモデルとして学校にお呼びし、その方に適合する木型を製作する。モデルさんを患者・お客さんに想定し、接客・コミュニケーションの方法などを経験させる。木型の材料であるポリウレタン樹脂の取り扱い方を習得する。重度の変形に対しての木型修正の方法を習得する。また自分が担当したモデルさんについてのレポートを作成し、知識を深める。								
〔授業全体の内容の概要〕								
採寸・採型・アエツク方法から木型・ノットヘット製作、アエツクシューム製作までの流れを、講義およびアセに続いて作業を進める。レポートを作成させ（整形靴製作実習Ⅱを含む）、行った作業をまとめ理解を深める。製作物について自己評価し、全体の前でプレゼンテーションする								
〔講師の実務経験〕								
鈴木義肢装具株式会社にて義肢装具士として医療用整形靴・足底板の採型・適合を含む病院営業、整形靴・足底板製作を含む義肢装具製作に従事。靴工房ハンザワにてオーダーメイド靴製作、整形靴製作に従事。ザニーツハウスポスクにて義肢装具士として病院営業と一部製作業務を担当。特に、整形靴の採型・木型製作・製甲・底付け・適合業務、足底装具製作、下肢を中心とした義								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
自身でスケジュール管理をし製作することができる。疾患に応じた採型から木型を製作することができる。製作工程を理解する。モデルさんとの円滑なコミュニケーションをとることができる。疾患に応じた製作のポイントを理解することができる。製作物について自己評価し、全体の前でプレゼンテーションすることができる。								
回数	講義内容							
1	実習要項説明							
2	採寸・採型DEMO							
3	陽性モデル製作DEMO							
4	採寸・採型練習							
5	採寸・採型練習							
6	採寸・採型（モデル）							
7	採寸・採型（モデル）							
8	採寸・採型（モデル）							
9	採寸・採型（モデル）							
10	採寸・採型（モデル）							
11	陽性モデル製作							
12	陽性モデル製作							
13	陽性モデル修正DEMO							
14	陽性モデル修正							
15	陽性モデル修正							
16	陽性モデル修正							
17	陽性モデル修正							
18	フットベッド製作DEMO							
19	フットベッド製作							
20	フットベッド製作							
21	フットベッド製作							
22	フットベッド製作							
23	チェックングシューズ製作							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

レポート作成

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

実習中の製作物80点＋筆記試験20点の100点満点で評価する